

2012.10.1



ワイズメンズクラブ国際協会東日本区
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

理事通信

2012~2013 年度 No.4

理事主題 「創造 多様性を生かしてイノベーション」

Creative Innovation in Diversified Society.

副題 「“恵みを愛もて分かち合おう” “Share your blessings in love”

東日本区理事 駒田勝彦

◇10月の声を聴きやっと思さから秋への感じがしてまいりました。9月30日は十五夜、ススキが月に良く似合います。9月は、結構忙しく常任役員会2回、委員会、部会とありました。各責任者には本当にご努力いただき、ご準備されてそれぞれが進んでいることを感じ感謝申し上げます。

◇10月は、毎週土曜日部会があり、次期の事業主任、次期の部長等次期役員研修会と続きます。

秋は各地でも行事の多い時皆様方にはご多用のことと存じますが、自分の所属する部会はもちろんのこと、お時間が取れましたら他の部会にも是非ご出席して交流と学びの時にしてはいかがでしょうか。

◇第2回の東日本区役員会(11月10日)の準備に入っております。各事業主任、各部長、各委員長の皆様のご報告原稿期日までに、ご提出よろしく願いいたします。

◇東日本大震災も1年6月が過ぎました、今までの支援活動から新たな取り組みが必要な時期になっています。私たちにできること、これから寒さを迎えるのに必要なこと等現地の情報を得て進めたいと思います。まだまだ資金は必要です。皆様方のお志を続けてお願いいたします。

<9月は「CS」・「国際協力」月間>

今月は「CS」/「国際協力」の強調月間です。

CS(Community Service):

各クラブは、直接的に、あるいはYMCAと協力して地域における奉仕活動を実践しています。このような活動は国際奉仕団体としてのワイズメンズクラブの重要な一面と言えます。現在CS活動を行っていないクラブ、又は新たなCS事業を考慮中のクラブは、今月の例会で検討して、方向性を打ち出してください。その際、会長さんがお持ちのCS事業の資料をお役立てください。近隣地域への活動がむずかしいクラブは被災地応援も考えてみてください。

(CS事業主任・小山久恵)

国際協力(UGP、YES):

10月は、国際・交流事業のうち、ロールバックマラリア事業のUGP(Unified Global Project)と、新クラブ設立を支援する為の基金として2009年

にスタートしたYES(Y's Extension Support)の強調月間です。UGPについては、国連の活動と連携した国際プロジェクトで、5年計画の終盤を迎えております。

先達でのノルウェーでの国際大会でも、UGPの国際的な寄付の強化が訴えられました。各部、クラブにて御協力頂き、年間100万人以上死者が出ているマラリアの防止の為の蚊帳の寄付に貢献頂ければと思います。東日本区の目標が800円/人以上となっております。

また各部会にて現物の蚊帳をお持ちし、ご案内出来ればと思います。宜しくお願いいたします。

(国際・交流事業主任・本間 剛)

<9月の新入会者>

☆9月27日高田昌幸さん(金沢八景)

☆9月27日赤嶺秀樹さん(金沢八景)

入会おめでとうございます、ご活躍期待します。

訂正:7月1日四之宮武征さん(下田)

広義会員から普通会员へ復帰しました。

<金子直前湘南・沖縄部長エルマークロー賞受賞>

任期年度中に特に傑出した働きをなした部長に贈られる国際賞、昨年度のエルマークロー賞の盾が、国際協会から金子 功直前湘南・沖縄部長宛てに送られてきました。

10月6日の湘南・沖縄部の部会で、お披露目と贈呈が行われます。おめでとうございます！

<ユースボランティアリーダーズフォーラム報告>

9月7日～9日、東京YMCA山中湖センターにて第25回ユースボランティアリーダーズフォーラムが開催されました。札幌2名、沖縄1名も加わり、総勢42名のユースが集まりました。東京駅に集合して皆で現地に向かうことで、参加者の気持ちをフォーラムに集中させることができたようでした。またグループを指導する立場のカウンセラーに今回はYMCAのスタッフを起用したことも、ワイズの思いをユースに伝えることの強化に繋がったものと思います。併催したワイズミーティングでは、短時間ながら実り多い議論がなされました。ワイズメンの皆様のご協力に深く感謝いたします。(実行委員長・大久保知宏)

<各部会報告>

北海道部会

平成24年8月25日(土)総勢28名の参加者で北広島クラッセホテルにて開催された。部会は、部長の直前評議会報告と小谷メネット主査よりメネット会報告が行われる。

第二部の基調講演は講師齊藤詔司氏の「シサムと呼ばれて」と題しアイヌ文化についての興味深いお話を聞く。懇親会は齊藤詔司さんのムックリ、安田文子新会員のピアノ披露と楽しい宴が繰り広げられた。最後は恒例の東日本区大会アピールに、もりおかクラブから大関実行委員長、井上委員が壇上に立ち、渡辺次期理事、山下直前部長、柴田部長、佐藤次期部長に支えられ、言葉を詰まらせての被災地報告と大会参加をアピールした。

(北海道部部長・柴田伸俊)

北東部会

9月1日(土)、59名の参加をいただき、建物自体が津波に浸水しながらもその後は復興の拠点となった南三陸ホテル観洋にて北東部会が開催された。第一部は昼食と交流会、そしてホテルで撮影した震災当時の映像を見ながら忘れてはならないと皆で心に誓う。第二部は各クラブのアピール並びに昨年度の表彰を、そして第三部として今回の部会の主目的である「被災地を知ること」を実践するため、語り部と共に被災地をバスで廻り、今なお手付かずの地域の様子を心に焼き付け、「見たこと・感じたことを家族や周りの人々にどうぞ伝えて下さい」と、部会を終了した。メネット会は開催せずアンケート結果の報告を行った。

(北東部部長・加藤重雄)

<健全化委員会から答申>

8月25日付けで東日本区の健全化について答申書が出されました。検討すべき問題点を抽出し提案がなされました。皆様の意見も反映させ、内外の信頼を獲得し魅力あるYSとして組織のイノベーションを図っていきます。区の役員の皆様には送付してあります。常任役員会で協議し諮問事項を各委員会にお願いいたしました。

<第2回債権回収チーム協議会>

9月27日に先ずS氏本人との面談を行い、今後の返済方法や見込みを聞きました。その後協議を行い、関連残債、固定資産評価証明他資料など合わせて検討しました。チームは抵当権の一部解除を行える状況でないことを確認、結論として本人申し出の一部抵当権の解除は行わない、期日を守り完済してもらうことを決定いたしました。

<国際Ys次年度BF代表の募集のお知らせ>

2013年—2014年のBF代表の募集が国際協会からありました。応募希望者は10月末までに、東日本区事務所へお申込み下さい。

(全額補助)

インド地域(南インド・中央インド)2013年9月
アメリカ地域(南アトランタ)

2013年9月末—10月初旬(2週間)

アフリカ地域(北西部)2013年9月—11月
(一部補助)

2013年アジア地域大会(フィリピン)

補助額600CHF(約5万円)6名(アジアの総数)

<第1回東日本大震災対策本部部会>

9月21日に部会を行いました。

- ①被災地支援ツアーを2回行ったこと、参加者からは、現地を見ての衝撃、ツアー企画に参加できたことによって知ること交わりを持てたことの報告が話されました。
- ②これからの支援策について話し合い、現地のクラブ仙台3クラブともりおかクラブと連携を密にして進めることを確認しました。
- ③何を行うにもまず資金が必要です、目的を具体化して(例:植樹資金)募金活動をすすめ方法等が協議されました。

<次期部長 次期事業主任研修会>

次期部長・次期事業主任研修会は10月27日(土)午後1時~18時10分日本YMCA同盟会議室(四ツ谷東日本区事務所)にておこなわれます。今年は時間を圧縮して中身の濃いプログラムをLT委員会では計画しております。

この研修が終わるといよいよ次期部役員、次期事業委員を選任し、次期の体制作りに入りますのでよろしくお願ひします。